

4日 水曜

ヤコブ

2:14 私の兄弟たち。だれかが自分には信仰があると云っても、その人に行いがないなら、何の役に立つでしょうか。そのような信仰がその人を救うことができるでしょうか。

2:15 兄弟か姉妹に着る物がなく、毎日の食べ物にも事欠いているようなときに、

2:16 あなたがたのうちのだれかが、その人たちに、「安心して行きなさい。温まりなさい。満腹になるまで食べなさい」と云っても、からだに必要な物を与えなければ、何の役に立つでしょう。

2:17 同じように、信仰も行いが伴わないなら、それだけでは死んだものです。

2:18 しかし、「ある人には信仰があるが、ほかの人には行いがあります」と言う人がいるでしょう。行いのないあなたの信仰を私に見せてください。私は行いによって、自分の信仰をあなたに見せてあげます。

2:19 あなたは、神は唯一だと信じています。立派なことです。ですが、悪霊どもも信じて、身震いしています。

2:20 ああ愚かな人よ。あなたは、行いのない信仰が無益なことを知りたいのですか。

2:21 私たちの父アブラハムは、その子イサクを祭壇に献げたとき、行いによって義と認められたではありませんか。

2:22 あなたが見ているとおり、信仰がその行いとともに働き、信仰は行いによって完成されました。

2:23 「アブラハムは神を信じた。それで、それが彼の義と認められた」という聖書のことばが実現し、彼は神の友と呼ばれたのです。

2:24 人は行いによって義と認められるので



あって、信仰だけによるのではないことが分かるでしょう。

2:25 同じように遊女ラハブも、使者たちを招き入れ、別の道から送り出したので、その行いによって義と認められたではありませんか。

2:26 からだが霊を欠いては死んでいるのと同じように、信仰も行いを欠いては死んでいるのです。

イエス様の十字架によって罪赦されて永遠の命が与えられたという信仰によって救われます。救いはあくまでも信仰によります。しかし行いが伴わなければ、そのような信仰は本物ではないかも知れません。または救いの確信が不十分で、感謝という動機がないのかもしれない。

ですから救われた者は、自分の信仰を確信して強められるためにも、行いを大切に考える必要があります。また良い行いをしようと願うなら、それは肉の力、すなわち意志の強さやがんばりによってというよりも、何よりもまず信仰によって行いをする必要があります。

信仰によって…というのは、イエス様に救われた感謝とイエス様を愛する心、そして十字架の事実によって新しくされたという自己像、さらには救われた者に与えられる聖霊との交わりによって…ということです。

アブラハムの信仰は「行いによって全うされ」とあります。今週も行いによって、信仰を表しましょう。行いによって主イエスへの愛を表しましょう。そして常に、信じるだけで与えられた赦しと永遠の命を感謝して、心の動機としていきましょ。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたその部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

